

浄瑠璃寺南に

クリーンセンター

奈良市ごみ焼却場を建設する現計画を 撤回するよう求めます。

- ・平安貴族が憧れた極楽浄土の究極形、浄瑠璃寺の景観と文化財をまもろう。
- ・平安期奈良の高僧、実範上人ゆかりの中川寺跡を次代につたえよう。
- ・古都奈良の奥の院、石仏の里・当尾と奈良の歴史的絆を大切にしよう。

浄瑠璃寺と当尾の里をまもる会

氏名	住所
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

※鉛筆ではなくボールペンまたはサインペンで記入してください。同じ住所でも「同上」「〃」などで省略しないでください。

※住所は都道府県から番地までお書きください。

※いただいた署名は、奈良市へ提出する以外の目的では、使用いたしません。

送付先：〒619-1135 京都府木津川市加茂町字西小 浄瑠璃寺「浄瑠璃寺と当尾の里をまもる会」

メール：campaign@save-joruriji.org URL：http://save-joruriji.org/

※総署名人数が分かるメモを付け、署名の原本を送ってください。コピーやFAXは不可です。

※「浄瑠璃寺と当尾の里をまもる会」は市民有志と寺社有志の集まりで、特定の宗教・政党とは無関係です。

取扱い団体

京都府木津川市当尾にある浄瑠璃寺は、平安時代に広まり京都にも多く造られた九品仏が現存する全国唯一の貴重な寺院で、九体阿弥陀仏と本堂とともに国宝です。現在奈良市は、京都府木津川市との市境に接する、中ノ川と東鳴川にまたがる山林に、新しいごみ焼却場の建設を計画していますが、浄瑠璃寺からごみ焼却場建設候補地までは、市境を挟み、最短で南にわずか380mしかありません。そのため、現候補地にごみ焼却場が建設されると、その高い煙突が国の特別名勝に指定されている浄瑠璃寺浄土庭園の景観を損ねることや、36万人分の大量のごみを焼いて出る排気ガスが、千年近い時を重ねて材質がもろくなっている文化財に対し、継続的なダメージを与えることが、懸念されます。

加えて建設候補地には実範上人開基の中川寺跡が含まれています。実範上人は自ら開いた中川寺を拠点として南都仏教の戒律復興に努め、唐招提寺を再興し、東大寺戒壇院受戒式を定めました。また中川寺は南山進流声明発祥の地としても知られます。この地にごみ焼却場が建設されれば、その造成工事によって、谷の両側に何段にもわたって残るかつての堂宇の跡が、中川寺から浄瑠璃寺を結んでいた古道とともに、完全に失われます。浄瑠璃寺や中川寺、岩船寺などが次々に開かれた、中ノ川から当尾にかけての地域は、奈良にとっていわば奥之院のような聖地です。奈良市が現候補地を選んだのは、最悪の選択です。

以上のことから、私たちは奈良市に対し、「先祖たちの心を次代に伝承することは、奈良市民にとって大切な責務である」と謳う奈良市文化財保護条例の尊い精神に則り、現計画を直ちに撤回して、奈良市の新しいごみ焼却場「クリーンセンター」を浄瑠璃寺近接地に建設しないことを強く求めます。

また、奈良市が木津川市など近隣市町村と連携して、市境周辺の文化財保全に努め、市境周辺の文化財を愛するすべての人々とともに、この地域をもりたてていくことを望みます。

ま
も
る
会。
当
尾
の
里
を
浄
瑠
璃
寺
と

